

平成28年 活動・事業報告（平成28年1月～12月）

日本外断熱協会（JAEI）

■1月22日（金） 設計部会第3回例会 外断熱改修設計実務講習会

第3回設計部会例会は、今年5月に開催（札幌・東京）を予定している、EAE（欧州外断熱協会）Pasker 専務理事を招いて開催する「日欧外断熱フォーラム」に向けた外断熱改修設計実務講座として開催。

13：30 「IECC 連続断熱基準と WUFI Pro/Plus での効果検証の概要」

14：30 第一回外断熱改修設計の実務講座（改修設計・積算・現場監理）

～「外断熱改修建物の長期修繕計画案の作り方を教えます」

（有）大橋建築設計室 大橋周二



■1月22日（金） 新年互礼会

平成28年新年互礼会が17：00より開催された。

国会議員の前田武志、秋元司衆議院議員のご出席をいただき互礼会を開催した。

この場で5月に開催される外断熱フォーラムについて紹介された。



■2月19日（金） 第3回木造部会【福岡】

「福岡の気象条件に適した木造連続断熱」をテーマに第3回木造部会が福岡で開催された。

木造外張り断熱（外断熱）の外壁に断熱材を充填した場合、木材の腐朽は？～福岡（九州）での木造高気密・高断熱住宅・パッシブハウスの熱・湿気の検証

特に超高断熱住宅やパッシブハウスの設計にあたり、

外張り断熱材としてXPS、フェノールフォーム、高性能断熱（EIFS）などを使用し、充填断熱材に繊維系断熱材を使用した場合の組み合わせ事例について報告があった。

外張り断熱 vs 外張り+充填断熱/WUFI Pro での計算事例紹介/WUFI Plus での評価/その他、

また、18時より同じ会場のアクロス福岡2階セミナー室2において、新建学校福岡2016「外断熱講座～福岡で外断熱！？」を開催した。



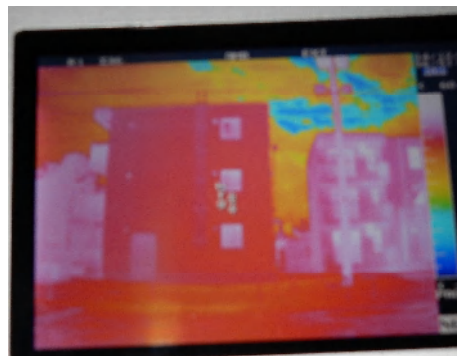
■2月22日（月） 外断熱マンション「リリーベル・・サーモス」赤外線カメラによる調査

首都圏に本格的な外断熱マンションが建設されてから12～15年経過した。

K地所が分譲した乾式通気層工法の外断熱マンション「リリーベル・・サーモス」の大規模修繕の為の診断を日本外断熱協会（JAEI）が行う。

2月22日午後13～19時頃まで約6時間かけて、赤外線カメラ撮影と目視検査や打音検査をしました。

（右の赤外線画像は当該建物ではありません）



■3月1日(火)「外断熱の窓口」が新装OPEN

東京都港区 東京タワー前に「外断熱の窓口」開設

『外断熱の窓口』は、NPO 設立の原点に戻り、13年間の蓄積、活動をもとにユーザー（個人・企業・マンション管理組合など）の方々からの「RC 外断熱工法による新築・改修相談」を事務局メンバー及びアドバイザー資格を持った設計事務所会員（外断熱相談員）が受けます。

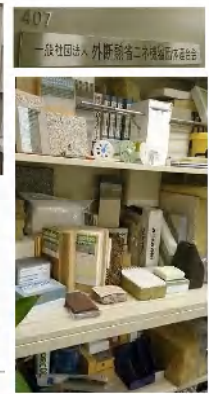


『外断熱の窓口』（外断熱相談・情報センター）視察
① 各社（親和会員の）最新のカタログ、サンプルを準備・展示します。

② 『外断熱の窓口』により、外断熱に関する法要を掲載し、外断熱市場拡大を策定します。

③ マスコミを活用して外断熱情報の発信に努めます。

④ 「設計即決」を通じて、設計事務所の外断熱に関する
業務相談、設計事務所会員の外断熱推進会議開催を促進
と外断熱建築アドバイザー制度の普及・宣伝に努めます。
⑤ 外断熱工法に関するオンラインの資料（情報）センター
の設置を担います。



●外断熱推進会議から日本外断熱協会へ名称変更！

2016年5月 通常総会において特定非営利活動法人 外断熱推進会議から特定非営利活動法人 日本外断熱協会へ名称変更をおこないました。



日本外断熱協会は、外断熱工法（木造外張り工法を含む）に関する協会として、行政への働きかけ、消費者の啓蒙及び相談窓口、外断熱工法の健全な発展のためEAE（欧州外断熱協会）やEIMA(米国EIFS 産業協会)との連携、日本における健全な外断熱工法の普及、発展につくしていきます。

日本外断熱協会は、「外断熱の窓口」「外断熱情報センター」の運営を通じて、消費者からの相談窓口となります。また、定期的な外断熱（新築・改修/RC造・木造）相談会の開催や（仮称）「外断熱マンションをつくる会」事務局として消費者に「外断熱建物の素晴らしさ～室内環境、資産価値向上」などを伝え、外断熱マンションの供給を求めています。

■4月20日(水) IBEC訪問

IBECに村上上周三理事長を吉田・堀内・田村で訪問した。5月開催の日欧外断熱フォーラムや外断熱工法の普及について協力を要請した。

これからも、継続して外断熱工法について説明していく必要性を感じた。

■4月22日(金) 定例理事懇談会開催

平成28年度の事業予算や収支について真摯な審議が理事及び正会員の出席で行われた。

■4月23日(土) 三和建装(株) 外断熱改修勉強会

日本外断熱協会（JAEI）賛助会員（C）/三和建装(株)主催による、マンション管理組合を対象とした外断熱改修勉強会を西東京市において開催しました。出席者36名 参加内訳は、マンション管理組合12組・ビルオーナー1名・設計事務所3名 外断熱改修勉強会（講師：大橋・堀内・北市）とパネルディスカッションをおこないました。パネルディスカッションでは、参加者からの質問が多く予定の30分を超え1時間以上の質疑応答行われた。



■ 4月23日(土) 外断熱マンション「リリーベル・・ 理事会」

K地所が分譲した築23年の外断熱マンションについて、日本外断熱協会(JAEI)メンバーが建物調査を実施した。屋上や外壁においてコーキングの劣化が見られたが、在来(内断熱)マンションのような大きな修繕箇所は発見されなかった。この日の知見を基に今後当該外断熱マンションの大規模改修計画が検討されることとなります。

■ 4月28日(木) 第4回木造部会

千葉県旭市の林工務店・林社長(JAEI正会員)の自宅が当団体と友好関係にあるPHIUS(米国パッシブハウス研究所)パッシブハウス認定を目指すことになったことで、熱交換換気システムや断熱性能についての勉強会が千葉県旭市で開催された。木造部会から、吉田部会長・田村事務局長・芝池副理事長が参加した。地域の工務店など約30名の参加であった。

■ 5月16日(月) 日欧外断熱フォーラム 札幌

Ralf Pasker(ラルフパスキー)EAE(欧州外断熱協会)専務理事を招聘し日欧外断熱フォーラム(札幌)を開催した。

日欧外断熱フォーラム2016札幌 開催のご案内

外断熱を日本の標準(スタンダード)に変えるとき!



主催: 特定非営利活動法人 外断熱推進会議(一社) 日本断熱住宅技術協会
後援: 国土交通省/経済産業省/北海道/札幌市/北海道建築技術協会/建築環境・省エネルギー機構/空気調和・衛生工学会/(特非)全国マンション管理組合連合会(全管連)/建物診断設計事業協同組合(建診協)/硝子燻管協会/ロックウール工業会/板硝子協会/ウレタンフォーム工業会/(一社)建材試験センター/(公社)日本建築家協会/(一財)日本建築学会/(公社)日本建築士会連合会ほか(申請中を含む)
協賛: StoJapan(株)/シヨックジャパン(株)ほか
日時: 2016年5月16日(月) 11時開場~17時閉会
会場: 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 札幌コンベンションセンター 小ホール
参加費: 1,000円(資料代)

特定非営利活動法人 外断熱推進会議(EIPC)は、EAE=欧州外断熱協会(EU各国の団体が加盟)のパスカー専務理事(ドイツ湿式外断熱協会専務理事)を招いて日欧外断熱フォーラムを札幌と東京において開催いたします。

開催の目的は、長い歴史と経験をもつ欧州の外断熱の現状と未来について、EU議会や欧州各国の省エネ政策に深く関わっているEAEパスカー専務理事から報告を受けます。



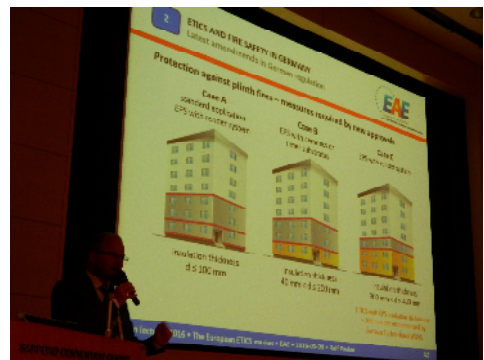
基調講演:「欧州の外断熱の現状と未来」(仮題)

Ralf Pasker(ラルフ パスキー)氏
1970年6月10日ドイツのクレーフェ(Kleve)生まれ、ジーゲン大学で商学を専攻する。1997年以來湿式外断熱に関し責任のある仕事に従事。2013年より欧州湿式外断熱協会(EAE)専務理事

湿式外断熱に關しドイツ国内、国際の委員会活動、規格作成委員会、規定作成委員会活動に従事湿式外断熱に關し、研修の指導、専門会議、国際会議にて活動。数多くの専門書籍を著作。

講演内容: ・経済と外断熱~雇用・地域経済の活性化/・EU(欧州連合加盟国)での取り組み/
・外断熱建物の耐久性、メンテナンス方法/・外断熱建物の大規模改修(外断熱改修)事例
・外断熱建物の防火/・様々な外断熱工法など

2016.03/31



■5月17日（火） 分譲マンション外断熱改修現場見学会（札幌市中央区）

外断熱フォーラムにおいて基調講演をいただいたEAEパスカー専務理事にご参加いただき、当該マンションの改修設計工事監理を担当しているEiPC設計部会の大橋周二部会長のアレンジにより、3月より大規模改修工事施工中の分譲マンションの現場見学会が開催された。このマンションは(有)大橋建築設計室として11棟目となる外断熱改修工事で、これまでの経験と蓄積が凝縮した改修計画となっている。見学会では、外断熱工法の概要紹介をはじめ、外断熱材の取付方式、屋上の断熱防水等の施工状況について専門的な解説がされた。



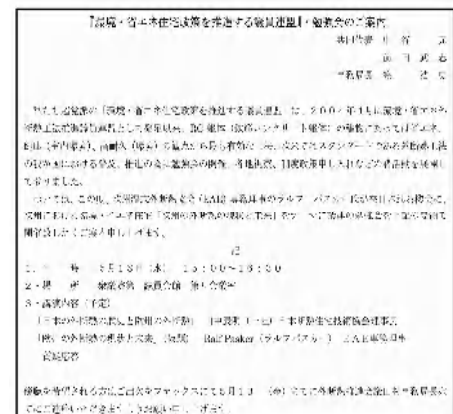
■5月18日（水）環境省エネ住宅政策を推進する議員連盟（超党派）講演

欧州湿式外断熱協会（EAE）専務理事のラルフパスカー氏が来日された機会に、「欧州における外断熱の現状と未来」をテーマに議連勉強会が下記の要領で開催された。



“環境・省エネ住宅政策を推進する議員連盟（超党派）”講演会

1. 「外断熱の歴史と将来」（10分） 予定
田中辰明（一社）日本断熱住宅技術協会理事長
 2. 「欧州の外断熱の現状と未来」（仮題）（30分）
Ralf Pasker（ラルフパスカー）欧州外断熱協会専務理事
- ・経済と外断熱～雇用・地域経済の活性化
 - ・EU（欧州連合加盟国）での取り組み
 - ・外断熱建物の耐久性、メンテナンス方法
 - ・外断熱建物の大規模改修（外断熱改修）事例
- 質疑応答（司会：芝池英樹外断熱推進会議副理事長）



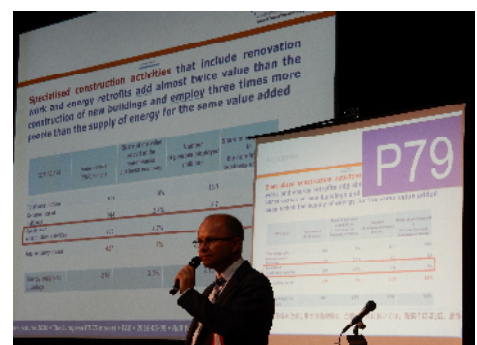
■5月19日（木）日欧外断熱フォーラム 東京

- 13:20 講演1 「日本の外断熱の歴史と欧州の外断熱」
田中辰明（一社）日本断熱住宅技術協会理事長
- 13:50 講演2 「外断熱マンションと日本の現状」
ノンフィクション作家 山岡 淳一郎氏
- 14:20 休憩
- 15:00 基調講演：「欧州の外断熱の現状と未来」



Ralf Pasker（ラルフ パスカー）EAE専務理事

- ・経済と外断熱～雇用・地域経済の活性化
- ・EU（欧州連合加盟国）での取り組み
- ・外断熱建物の耐久性、メンテナンス方法
- ・外断熱建物の大規模改修（外断熱改修）事例
- ・外断熱建物の防火 ・様々な外断熱工法など



■5月20日(金) 外断熱推進会議通常総会開催 日本外断熱協会(JAEI)へ改称した

11:00 設計部会 Pasker 専務理事との技術交流会

(札幌/東京会場の内容について)

13:30 外断熱推進会議通常総会

日本外断熱協会(JAEI)設立総会

Pasker 専務理事のご挨拶、その後退席

16:00 閉会 新理事選出 新理事会

総会では名称の変更、理事数の変更議案が承認されました。



■5月21日(土) たま/まちせん リノベーションに関する意見交換会

多摩リノベ協議会と「多摩ニュータウンのリノベーション改修に関する意見交換会」が開催された。

第一部 外断熱改修後の「鶴巻団地」見学会と「外断熱についての勉強&交流会 in 多摩(NT)」

14:00 開会 多摩まちせんより ~第一部 多摩でのマンション・団地再生への取組み

(エコリノ協議会、たま・まちせん他)

14:30 第二部 日本外断熱協会(JAEI)からの報告

(集合住宅で外断熱を普及するための合意形成などを念頭に)

外断熱改修の実務 大橋建築室 大橋周二

■6月10日(金) 第一回「事業部会」

企業会員から理事の増員(複数名)日本外断熱協会会員企業の活動支援と会員相互の連携をすすめるために、今総会で「事業部会」が新設されました。「事業部会」は、平成27年8月28日に開催「外断熱推進会議施工業者及びメーカーとの懇親会」開催や会員(特に賛助会員C)声をNPO活動に反映させるために設立されました。「施工業者及びメーカー」会員(賛助会員C)から選出された、理事を中心に「事業部会」活動を行います。

■7月20日(木) 北海道支部会議・外断熱セミナー

1. 日本外断熱協会の紹介と2018年の活動
堀内正純 日本外断熱協会 専務理事
2. 札幌市内での外断熱改修マンションの紹介
大橋周二 日本外断熱協会北海道支部事務局長
3. 米国の連続断熱(外断熱)施策の最新情報と今年9月の米国視察

芝池英樹 NPO法人 日本外断熱協会 副理事長、博士(工学) 京都工芸繊維大学大学院准教授



■8月4日（木） 拡大五役会議 事業部会発足会 三沢浩講演会

10:00 拡大五役会議

13:00 事業部会発足会（部会長 靄島一弘理事）

12名が参加され事業部会の規約や今後の計画について説明された。

今後事業部会が主体となって収益に結びつく事業を展開していくことが確認された。

田村事務局長より企画の提案、動員及び会員の勧誘などについて提起があった。

15:10 芝池副理事長の「事業部会に吹く追い風 BELSとZEH化」講演があった。

15:00 会員企業工法（商品）事業実績発表会

初めに堀内専務理事より「事業部会」「木造部会」

「設計部会」の説明、日本外断熱協会の平成28

年度予定事業について説明があった。

その後下記の各社より事業内容の説明がなされた。

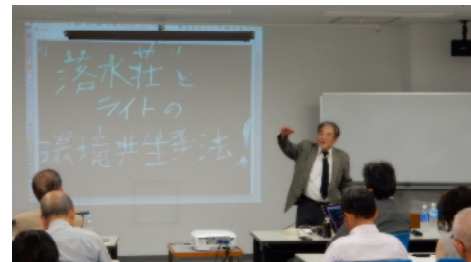
オメガジャパン（株）/三和建装（株）/（株）テスク

（株）高本コーポレーション/（株）ツツキ



18:00 三沢浩講演会 「落水荘と、F・L・ライトの環境共生手法」講演内容は下記の通り
約35名の参加で盛況であった。

1. フランク・ロイド・ライトとは誰か
2. ライトはプレイリー建築を1910年に集大成
3. スキャンダル続きの空白時代にアイデアを蓄積
4. 環境共生手法実現のためのアイデア
5. 落水荘は世界的な近代建築の金字塔
6. 第3期黄金時代は蓄積したアイデアの実現
7. 関連スライド上映



■8月7日（土） ホームタウン南大沢 見学会及び住人との意見交換会

4組のマンションの管理組合の皆様と外断熱住宅に居住するオーナー計5組の見学者とホームタウン南大沢の外断熱改修したY宅訪問と集会室での貴重な意見交換をしました。

マンション住人には外断熱改修に疑問を感じている人もおり、質問で、外断熱改修において給湯器廻り等の断熱を施工出来ない部分が有ると、外断熱の効果が無くなるのでは等の意見がありました。しかし、外断熱改修を行ったY宅の訪問で断熱ができない箇所があっても、室内が外部に比べて涼しく、

実際の生活状況に関して話を聞くことが出来て、外断熱改修の良さを理解して頂いたと思います。

当日東京地方は、天気は快晴で非常に暑く八王子市の気温は33度でした。Y様のお宅は、四階建てマンションの西側の妻住戸で、西側に日が掛っている時の見学でしたが、室内に入ると少し涼しくなり、エアコンなしでも暑くならない状況（～暑い日中に森の中に入り汗が引く感じ）でした。

参加者は、電気代の軽減による金額差のメリット等を確認していましたが、Y様は、電気代の金額差よりも住環境が劇的に改善されて住み心地の良さが大幅に改善された事を説明されていました。

（参加者より）



■9月1日（木）第7回アドバイザー講習（新規 更新）

外断熱建築（マネージング）アドバイザー講習会（3年毎に更新）が開催された。

今回は新規受講5名、更新、受講が9名 計14名であった。

講師は、堀内・芝池・大橋・田村

新規受講者考査試験では今回受験した5名が合格し、外断熱建築アドバイザーIDカードが発行された。



■9月2日（金）理事会 理事懇談会

理事会では資金問題や各部会の今後予定、また事業部会では新HPについて計画の概要が説明された。

15:00からの定例理事懇談会では資料に沿って説明がなされた。

■9月7日（水）千葉PHIUSパッシブハウスプレス発表&セミナー（木造部会）

千葉PHIUSパッシブハウス要点解説セミナー：概要

主催：特定非営利活動法人 日本外断熱協会（JAEI, sotodan-jaei.org）

共催：PHIJP 発足準備会（phi-jp.org）

日時：2016年9月7日（水） 15:00-16:50

（●プレス発表会：13:00 開場，13:30-14:30）

【米国発のパッシブハウス=PHIUS+2015 認証 パッシブハウスプロジェクトの全容】
～「地域に根ざした木造の家造りを熱く指向してきた千葉県旭市の工務店が辿り着いたのは、北米最高水準のエコ住宅の設計・施工法」

環境先進国との認識から、注目されることの多いドイツ発のパッシブハウス基準。暖房中心のドイツ中部の気候条件に最適な設計法として洗練されて来たため、立地条件に拘わらず設計基準は不変で、特に猛暑が続き冷房・除湿負荷が過酷な夏期を有する地域での利用には適さないことが北米で指摘されています。

この問題を克服するため、米国パッシブハウス研究所（PHIUS）が創出した PHIUS+ 2015 基準では、暖房負荷だけでなく、冷房・除湿負荷や、暖房・冷房設備容量の各基準値が、敷地の気候条件によって指定されます。夏は高温・多湿で冬は寒冷な潮風に連年曝される当該敷地に対しては、クリアすべき冷房負荷のハードルが高く、これを如何に解決するかという難問に遭遇しました。

幸運にも、Fraunhofer 建築物理研究所が開発する建物熱・湿気性能予測アプリ WUFI Passive / Plus 3.x を駆使することで解決され、この度 PHIUS+ 2015 基準での仮認証が見込める運びとなりました。

外皮の防露性能や耐久性にも配慮した超高断熱・高气密外皮で創る高耐久住宅の設計が、如何にして可能となったかを紹介し、経済性を考慮した汎太平洋最高性能達成のプロセスを概説します。



■要点解説セミナー：概要

主催：特定非営利活動法人 日本外断熱協会（JAEI, sotodan-jaei.org）

共催：PHIJP 発足準備会（phi-jp.org）

日時：2016年9月7日（水） 15:00-16:50

（●プレス発表会：13:00 開場，13:30-14:30）

会場：東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 6階 6-67 会議室（定員 63名）

参加費：一般：2,000円、当協会会員：1,000円、

当協会木造部会員・出版・プレス：無料

■要点解説セミナー：進行 14:40 開場，15:00-16:50（プレス発表会終了後）

司会：堀内正純 / 日本外断熱協会専務理事

15:05-15:25 設計主旨と建築・構造の概要…小久保一雅 / 小久保一雅建築設計事務所

15:25-15:50 PHIUS+2015 認証の気候依存性と認証取得を支援する WUFI Plus

…芝池英樹 / 当協会副理事長

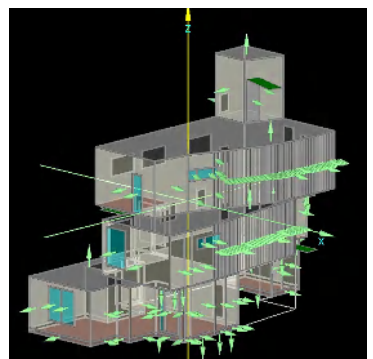
15:50-16:00 休憩

16:00-16:25 PHIUS+2015 認証取得の要点と WUFI Passive

…岡田さよ / SA2 Studio (Boston)

16:25-16:45 要点解説「PHIUS+2015 認証の外皮・設備詳細」…佐貴隆史 / 当協会理事

16:45-16:50 まとめ…吉田一居 / 当協会理事・木造部会長



■9月22日(木) 米国ツアー

NAPHC2016・EIMA 落水荘 外断熱調査ツアーが9/22～10/1 実施された。
芝池先生を団長に11名の参加であった。

EIMA(米国EIFS産業協会)とJAEI(日本外断熱協会)は、相互交流関係を構築したい。

1) 英文友好協定(案)について、10月中旬開催のEIMA理事会で審議される。

JAEIの説明情報や国内のEIFSを取り巻く市場の状況や関連する制度・政策について
出来るだけ早く取りまとめて送信し、協定案審議の補助資料に加えて戴く。

2) 2017年3月27日(月)～28日(火)にラスベガスで開催されるEIMA総会へ招待を受ける。

3) EIMA理事会の合意が得られれば、日本に数名の専門家使節団を派遣し、国内市場の活性化
や建築家の教育、国内問題点の解決について公開セミナー等を開催し、EIFSの国内での普及・
広報に役立てることが可能である。

今後6～12ヶ月の間で、訪問期間などの調整が必要となる。

4) 排水層のある新世代のEIFSに関連する各種技術情報が解説された。

■10月14日(金) 「外断熱の窓口」ミニセミナー

ドイツ・ミュンヘン在住のアンドレア・クーラーさんが来日。

「欧州省エネ建築事情」と題したミニセミナーを日本外断熱協会事務所で開催。

今後もこのようなミニセミナーを日本外断熱協会事務所で開催したい。

■10月15日(土) (株)ツツキ 外断熱セミナー

賛助会員C・(株)ツツキ主催、日本外断熱協会(JAEI)後援の外断熱セミナーが開催された

「東京で外断熱?外断熱工法の普及と現状」 (日本外断熱協会(JAEI) 堀内正純)

「乾式外断熱における設計と施工～都内オフィスビル石張り施工事例」 (株)ツツキ 岡田幸三)

「湿式外断熱工法の紹介」 (株)サンクビット 村田茂樹)

■10月28日(金) ZEHセミナー

ZEH化解説と超高断熱・高耐久木造住宅セミナーが開催された。

「省エネルギー政策の動向とZEHの普及促進について」

講師：資源エネルギー庁 省エネルギー課 吉田健一郎氏

「健康省エネ住宅推進プロジェクト補助金獲得で分かった軸組木造住宅の高断熱・高气密化の要点」

講師：(株)ハヤシ工務店 林 和義氏

「気候条件に準じたPHIUS+2015認証取得を加速するWUFI Plus」

講師：芝池英樹先生

「北米パッシブハウス会議・見学会報告」

大橋様 岡田様 金子様よりあった。

■12月15日(木) さいたま市に対する外断熱工法の紹介

宮坂理事長 堀内専務理事 靱島理事の三名が訪問

これからの公共建物、例えば学校などの外断熱改修新築について、市営公共建築物の外断熱化を
すすめている札幌市の事例を紹介した。